

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 6 月 27 日 (2013.6.27)

【公開番号】特開 2011-17524 (P2011-17524A)

【公開日】平成 23 年 1 月 27 日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報 2011-004

【出願番号】特願 2010-107894 (P2010-107894)

【国際特許分類】

F 2 8 G 1/16 (2006.01)

F 2 3 J 3/00 (2006.01)

【F I】

F 2 8 G 1/16 C

F 2 3 J 3/00 1 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 10 日 (2013.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

空気予熱器の清掃方法であって、該空気予熱器が、空気及び煙道ガスを導き、軸を中心に回転するロータの外周からの選択された半径方向距離にある隣り合う通路を含む熱交換ロータと、前記ロータが回転するにつれて、すす吹き媒体が、すす吹き装置から、該すす吹き装置の端部を通る前記ロータの通路の中に吹き込まれ得るように、前記ロータの外周からの選択された半径方向距離のところに隣接して配置可能である端部を有するすす吹き装置とを備えるタイプの空気予熱器である、空気予熱器の清掃方法において、

前記すす吹き装置の端部を前記ロータの外周からの第 1 の半径方向距離のところの通路に隣接して配置するステップと、

前記ロータの外周からの前記第 1 の半径方向距離のところの各通路が前記すす吹き装置の端部を通過するように、選択された速度で前記ロータを回転させるステップであって、前記選択された速度が、前記すす吹き装置の端部を通過する前記ロータ部分接線速度に対応する、前記ロータを回転させるステップと、

前記ロータを前記選択された速度で回転させながら、前記ロータの外周からの前記第 1 の半径方向距離のところの前記通路を介してすす吹き媒体を吹きつけるステップと、

前記すす吹き装置の端部が、各段階的移動の後に前記ロータの外周から異なる半径方向距離にあるように、前記すす吹き装置を段階的に移動させるステップと、

前記すす吹き装置の端部を通過する前記ロータ部分の接線速度が、前記選択された接線速度の 15% 以内になるように、各段階的移動の後に前記ロータの回転速度を変化させるステップと、

前記ロータを回転させながら、前記すす吹き装置の端部の各段階的移動の後に、前記通路を介してすす吹き媒体を吹きつけるステップとを含む、空気予熱器の清掃方法。

【請求項 2】

前記接線速度が清掃工程の間、一定である、請求項 1 に記載された空気予熱器の清掃方法。

【請求項 3】

前記すす吹き媒体が、空気、水又は蒸気である、請求項 1 に記載された空気予熱器の清

掃方法。

【請求項 4】

前記ロータ内の全てではないがいくつかの通路が、すす吹き媒体を吹きつけられる、請求項 1 に記載された空気予熱器の清掃の方法。

【請求項 5】

前記すす吹き装置が、最初に、前記ロータの最も内側の通路を介してすす吹き媒体を吹きつける、請求項 1 に記載された空気予熱器の清掃方法。

【請求項 6】

前記すす吹き装置が、最初に、前記ロータの最も外側の通路を介してすす吹き体を吹きつける、請求項 1 に記載された空気予熱器の清掃方法。